



川中だより

令和7年5月30日(金)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第2号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

自律する子の育て方

校長 若月 隆雄

去る5月2日に、校区内を歩くふるさとウォークを実施しました。この行事は、生徒達がふるさと「川東」を五感で感じ、友達と一緒に歩くことで改めてふるさとの良さ、仲間のよさを実感することを目的に実施しています。当日参加した生徒全員が完歩し、目的を達成できたのではないかと思います。事後学習として、ふるさと川柳や俳句を作りました。個性あふれる作品が完成しました。

このふるさとウォークを実施するにあたり、生徒の安全確保のためのお手伝いをいただいたり、一緒に歩いていただいたり、多くの保護者の皆様からご協力をいただきました。また、地域コーディネーターの菅さんからは、公民館使用の予約等をしていただきました。ご協力くださった全ての皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、科学技術の進歩は私たちの想像を超えるスピードで起きています。それに伴い経済構造や社会構造も大きく変化しはじめ、かつて常識だったことに囚われすぎると時代とうまく噛み合わなくなることが、社会のあらゆる場面で出てきています。

このような激動の時代において最優先されるべき個人の資質は、自分で考え、判断し、行動できることではないでしょうか。「どうやったら地球環境を守れるか」「どうやったら紛争をなくせるか」これからは、グローバルな視点で考えていくことが求められます。まず、**多様な考え方や特性を認め、他者を「尊重」することが大切**になります。

学習指導要領には、子どもたちを自律した人間に育てるための手段として、「知育」「徳育」「体育」をバランスよく習得させることだと書いてあります。川東中学校のグランドデザインも「知：知識・技能の確かな習得と活用」「徳：豊かな心の育成」「体：健康体力の向上」の3つの目標を設定しています。

工藤勇一氏(教育アドバイザー)は、安心できる環境をつくることと、ストレスに強い脳をつくることのできる、魔法の言葉として以下の言葉を推奨しています。

【子どもに自己決定を促す「3つの言葉」】

- 1 「どうしたの?」「何か困ったことはあるの?」
- 2 「あなたはどうしたいの?」「これからどうしようと考えているの?」
- 3 「何を支援してほしいの?」「私に何かできることはある?」



常に子どもに自己決定の機会を与えていくと自己肯定感が高まり、自ずと自信と主体性が付くと言われています。「子どもを頭ごなしに叱らない」「子どもに決めさせる」この2本柱が同時にあることで「失敗しても大丈夫。やり直せばいいんだ。いろいろなことにチャレンジできるんだ。」という安心感が生まれます。

学校や家庭が子どもたちにとって、心理的に安全安心な環境になるように、学校と家庭、地域が連携・協働して取り組んでいきましょう。

※参考・引用文献「自律する子の育て方」著：工藤勇一・青砥瑞人